

本会・他学会水環境関連行事一覧

開催期日	行事	開催地	案内記事 掲載巻号
2020年			
11月 26日 (木)	第26回膜分離技術セミナー (web 開催)	オンライン	本号
2021年			
1月 22日 (金)	第66回日本水環境学会セミナー (オンライン開催) 「水環境における病原性ウイルスモニタリング技術の動向」	オンライン	
3月 10日 (水)～12日 (金)	第55回日本水環境学会年会 (オンライン開催)	京都	本号
12日 (金)	第55回日本水環境学会年会併設全国環境研協議会研究集会 (オンライン開催)	オンライン	本号
5月 9日 (日)～14日 (金)	IWA World Water Congress & Exhibition 2021	コペンハーゲン	本号
2022年			
3月	第56回日本水環境学会年会	富山	

消費税率の引き上げに伴う年度会費改定のごお願い

公益社団法人 日本水環境学会
会 長 松井 佳彦

ご承知のように、2019年10月1日より消費税率が8%から10%に変更になりました。これに伴い、本会の年度会費を下記のように改定させていただきますので、何卒ご理解とご協力をお願い申し上げます。

今回の消費税率の変更に伴う年度会費の改定については、2019年5月8日の運営理事会、同5月29日の理事会において慎重に議論して参りました。その審議結果を受け、同6月18日に開催された第39回通常総会において第5号議案としてご審議いただき、下記のように変更することをご承認いただきました。本会のホームページおよび会誌の会告において、再度周知させていただきます。

今回の消費税率の変更を契機に、さらなる会員サービス向上を目指して努力する所存です。会員各位におかれましては、本会の財政状況などをご勘案いただき、何卒ご理解いただきますよう重ねてお願い申し上げます。

なお、本改定額は、2020年度会費より適用されることを申し添えます。

会費改定

単位：円

会員種別	旧会費	新会費 (2020年度以降)
個人正会員	12,500	13,000
団体正会員 (公益)	77,900	80,000
団体正会員	155,900	160,000
特別正会員	5,200	5,500
学生会員	5,200	5,500

会員登録データ変更の届け出について（お願い）

住所、所属変更等、本会に登録されているデータに変更のあった場合には、ホームページの会員専用ページ (<https://www.jswe.or.jp/member/>) よりご登録の変更をお願い申し上げます。メールアドレスの登録がない方、登録アドレスを忘れた方は、メール (member@jswe.or.jp) または Fax にてお問い合わせください。お電話での変更のご連絡は受け付けません。会員は年度毎（4月→3月）の扱いで、退会のお手続きがない場合には、自動的に会員登録が継続となります。

また2013年度より特別正会員制度も新設されています。この制度は、満65歳以上で、水環境関連分野に従事、または関心を有し、本会に対し功労のあった個人を対象とするもので、学会コミュニティにおいて、継続的に知識や経験を活かした活動に取り組んでいただくために設けられたものです。資格要件など詳細は本会WEBサイト (<http://www.jswe.or.jp/joining/index.html>) をご覧ください。

本会関連行事

第55回日本水環境学会年会 研究発表申し込み案内

第55回日本水環境学会年会を次の要領で開催いたします。多数の発表申し込みを期待いたします。諾否は年会実行委員会が行いますので、予めご了承ください。

1. 概要

内容 一般研究発表（オンラインでの口頭発表、オンラインでのポスター発表）

注：ポスター発表はショートプレゼンテーションに変更される可能性があります。ご注意ください。

期 日 2021年3月10日（水）～12日（金）3日間

会 場 京都大学（オンライン開催）

2. 一般研究発表の募集

内容 別表に示す内容の水環境に関する調査研究成果

応募資格 本会会員に限ります。

登壇資格 登壇者（ポスター発表の代表発表者を含む）は正会員（個人正会員、団体正会員）および学生会員とします。

1名が2つ以上の演題に関して登壇者（ポスター発表の代表発表者含む）となることはできません。

申し込み方法

1) 発表申し込み受付は本会のホームページからのみです。ホームページ (<http://www.jswe.or.jp/>) の当該バナーから第55回日本水環境学会年会発表申し込みページにお進みいただき、必要事項を記入の上、送信してください。送信完了後に、受付番号が自動返信されます。パソコンの機種によっては、返信に時間がかかることがあります。1日以上たっても返信のない場合は、下記問い合わせ先にご連絡ください。同じ内容の申し込みを何度も続けて送信されると、システムトラブルの原因となる可能性が大きいのでご注意ください。ま

た、複数のタブ又はウィンドウで発表申し込み画面を開いて操作すると、登録内容が混乱することがあります。発表申し込み画面を複数開かないようにしてください。

2) 申し込み期限は11月19日（木）24:00です。締切日近くにはアクセスが集中し、接続が難しくなる場合があります。早めのお申し込みをお願いします。期限厳守とし、以降の申し込みは受け付けません。

3) 発表申し込みに必要な会員番号は、個人正会員は「水環境学会誌」を送付する封筒の住所ラベルの下にある6桁の数字、団体会員は同様のSまたはKで始まる4桁の数字、学生会員は20で始まり最後にSのつく5桁の数字です。

発表申し込みの際、必ず登壇者の会員番号を入力してください。他の番号を入力されると受付できないことがありますのでご注意ください。

4) 研究発表内容の分類は別表に従ってください。最新の分類に従ってください。

5) 発表形式の希望（口頭発表、ポスター発表、どちらでも可）を選択してください。なお、会場の都合でご希望に添えない場合もあります。一般ポスター発表は、1日目か2日目のどちらかみの指定時間帯になります。

6) 発表申し込み・講演要旨・当日発表は同じ言語にしてください。学会当日、日本語で発表される場合には、発表申し込みを日本語で行い、講演要旨も日本語で作成してください。英語で発表する場合には、発表申し込みを英語で行い、講演要旨も英語で作成してください。

7) 申し込み時の発表題目、発表者名、発表要旨は、受付後の変更はできません。申し込み内容は各自でお控えの上、講演集原稿の題目、発表者名は申し込み時と同じにしてください。講演集原稿の内容が申し込み時と異なる場合には、発表をお断りすることがありますのでご注意ください。共同発表者の記載漏れ、氏名（フリガナ、漢字）の間違いについても十分ご注意ください。

- 8) 申込内容に間違いがあった場合、使用言語の変更を希望する場合には、発表受付番号と登壇者氏名を明記の上、nenkai@jswe.or.jpに速やかにご連絡ください。
- 9) 登壇者（ポスター発表の代表発表者を含む）の変更は、事前にご連絡の上、共同発表者に限ります。年会学生ポスター発表賞の発表者については、変更のご連絡が遅れると発表自体をお断りすることがあります。

発表形式・発表時間

- 1) 口頭発表に必要なパソコンや通信環境については発表者が用意してください。
- 2) 口頭発表は1演題につき15分（発表10分、質疑応答5分）を予定しています。
- 3) ポスター発表は年会開催期日の指定時間内をお願いいたします（別途連絡いたします）。一般ポスター発表は、1日目か2日目のどちらかのみポスター掲載（またはショートプレゼンテーション）になります。発表に必要なパソコンや通信環境については発表者が用意してください。

年会優秀発表賞（クリタ賞）

博士前期課程（修士課程）の大学院生による研究発表のうち、特に優れたものに対し年会優秀発表賞を授与します。1次審査通過者による2次審査は年会2日目のみにおこなわれます。応募方法、審査方法等の詳細については、次項を参照してください。

年会学生ポスター発表賞（ライオン賞）

学部生、高等専門学校生（高専生）、短大生によるポスター発表のうち、特に優れたものに対し年会学生ポスター発表賞を授与します。発表は審査年会初日のみにおこなわれます。応募方法、審査方法等の詳細については、次項を参照してください。

3. 講演集の原稿について

口頭発表およびポスター発表のいずれも講演集の原稿（講演要旨原稿）を作成していただきます。原稿書式はホームページの執筆要領 <http://www.jswe.or.jp/event/lectures/index.html> をご参照ください。

作成方法 原稿枚数はA4判1枚（図表も含む）とします。

提出方法 学会ホームページの会員専用ページよりご提出ください。

個人会員（会員専用ページ）：

(<https://www.jswe.or.jp/member/index.php>)

団体会員：

(<https://www.jswe.or.jp/member/Ctl-2-17.php>)

提出期限 2021年1月18日（月）アップロード完了を期限とします。以降は原稿を受け付けません。

著作権 講演集に掲載された要旨の著作権は、本会に帰属します。

4. 講演集の電子化について

2015年度（第50回）から、日本水環境学会年会の講

演集は電子ファイル（ダウンロード方式）版が標準になりました。講演集の公開日（発行日）は年会開催日の1週間前を予定しています。なお、追加料金での冊子版講演集のご提供（開催後に郵送）も予定しています。

5. 参加申し込み

年会の参加申し込み案内は、本誌12月号およびホームページに掲載予定です。登壇者も必ずお申し込みください。

6. 研究集会について

年会期間中に行う場合は、オンラインミーティングの設定をいたしますので下記にお問い合わせください。

研究集会についての問い合わせ先

越後 信哉

京都大学大学院工学研究科都市環境工学専攻

E-mail: echigo.shinya.6u@kyoto-u.ac.jp

7. 特別講演のご案内

下記の日時で特別講演会を予定しています。講師と演題については決まり次第、学会ホームページでご案内致します。

日時 2021年3月11日（木）15:15～16:15（予定）

参加費 無料（日本水環境学会年会の参加登録がない場合でも参加可能です。）

8. 懇親会について

懇親会は開催いたしません。

9. 問い合わせ先

（公社）日本水環境学会第55回年会係

Tel: 03-3632-5351 E-mail: nenkai@jswe.or.jp

「年会優秀発表賞（クリタ賞）」候補者の募集

第55回日本水環境学会年会において、博士前期課程（修士課程）の大学院生を対象とした年会優秀発表賞受賞候補者を募集します。多数の方々の応募を歓迎します。

表彰の趣旨 研究意欲の啓発を目指し、博士前期課程（修士課程）の大学院生を対象として、優秀な研究成果発表を表彰します。

表彰対象者 年会において口頭発表を行う博士前期課程（修士課程）在学の学生会員に限ります。対象者以外の申し込みは発表自体をお断りすることがありますのでご注意ください。

応募方法 本会ホームページから年会研究発表を申し込む時に年会優秀発表賞（クリタ賞）への応募を選択し、所定の事項を記入の上、送信してください。

審査方法

1次審査 講演要旨原稿の内容に基づき審査します。1次審査通過者には、2次審査の詳細を通知します。

2次審査 年会2日目に発表審査を行い、投票に基づいて受賞者を決定します。

別表 日本水環境学会年会 研究発表分類表

大分類／ General classification カテゴリー／Category		中分類／Middle classification フィールド、メソドロジー／ Field, Methodology	分類テーマ、キーワード例 (主たる研究対象や手法に関する分類 テーマ、キーワードの例)	Examples of Keywords
A	水環境 Water environment	1 河川 river	有機物、栄養塩類、懸濁物質、無機イオン、重金属、内分泌攪乱物質、農薬、微量化学物質、汚濁負荷、ポイント・ノンポイントソース、溶存酸素、界面活性剤、変異原性物質、アオコ、富栄養化、植物プランクトン、動物プランクトン、底質、汽水域、干潟、藻類、赤潮、貧栄養化など	organic compound, nutrient, suspended solid, inorganic ion, heavy metal, endocrine disruptor, pesticide, agrochemical, micropollutant, pollution loading, point/non-point source, dissolved oxygen, surfactant, mutagen, blue-green algae, water bloom, eutrophication, phytoplankton, zooplankton, sediment, brackish waters, tidal flat, algae, red tide, oligotrophication, etc.
		2 湖沼 lake		
		3 海域・沿岸 sea/coast		
		4 湿原 estuary, wetland		
		5 湧水 spring, sour water		
		6 流域・流域管理 watershed/watershed management	水資源、循環利用、地下水、排出負荷測定、排出源推定、排出負荷削減、水質保全など	water resource, recycling of water, groundwater, measurement of pollution loading, estimation of pollutant source, reduction of pollution loading, conservation of water quality, etc.
		7 生物・生態系 living thing/ecosystem	二枚貝、魚類、水生植物、海草、海藻、生物濃縮、食物連鎖、藻場、ベントス、微生物生態、生育場など	bivalve, fish, aquatic plant, macroalgae, bioaccumulation, food chain, sea grass bed, benthos, microbial ecology, habitat, etc.
		8 指標 index	総合指標、理化学的指標、生物指標、健康関連微生物、環境基準など	composite index, physical and chemical index, biological index, health-related microorganisms, environmental quality standards, etc.
		9 モデル model	水質、生態系、流出、浄化予測、汚濁負荷推定、水理など	water quality, ecosystem, runoff, prediction of purification, estimation of pollution loading, hydraulics, etc.
		10 自浄作用 self-purification	自然浄化、浄化機構、富栄養化、水理、水文、直接浄化など	natural attenuation, remediation mechanism, eutrophication, hydraulics, hydrology, direct purification, etc.
		11 気候変動 climate change	地球温暖化、局地的豪雨、浸水/災害対策、渇水、調査研究など	global warming, local heavy rain, flood/disaster countermeasure, drought, survey research, etc.
		12 生態系サービス ecosystem services	生態系サービス、生態系機能、自然資本、グリーンインフラなど	ecosystem services, ecosystem function, natural capital, green infrastructure, etc.
		13 その他 others		
B	土壌・地下水 Soil/Groundwater	1 土壌・地下水汚染 soil and groundwater contamination	土壌、地下水、硝酸、揮発性有機化合物、重金属、ヒ素、水理、モデル、バイオレメディエーション、微生物、活性炭処理など	soil, groundwater, nitrate, volatile organic compounds heavy metal, arsenic, hydraulics, model, bioremediation, microbes, activated carbon treatment, etc.
		2 浄化技術 remediation technology		
		3 その他 others		
C	上水・用水・再生水 Drinking water/ Utilize water	1 水源管理 water source management	水源、有機物、海水淡水化、重金属、微量化学物質、農薬、濁度、臭気物質、凝集沈殿、ろ過、吸着、オゾン、紫外線、膜、消毒、健康関連微生物、消毒副生成物、給配水、再増殖、気候変動、リスク評価、リスク管理、水質事故など	water source, organic matter, seawater desalination, heavy metal, micropollutant, pesticide, agrochemical, turbidity, odorous compound, coagulating sedimentation, filtration, adsorption, ozone, UV, membrane, disinfection, health-related microorganisms, disinfection byproduct, water distribution, regrowth, climate change, risk assessment, risk management, accidental water pollution, etc.
		2 浄水処理・管理 water treatment/management		
		3 水質評価 water quality evaluation		
		4 再生水 reclaimed water		
		5 浄水場排水・スラッジ処理 waterworks wastewater/sludge treatment		
		6 その他 others		
D	排水処理 処理方式 Wastewater treatment - treatment process	1 活性汚泥法 activated sludge process	標準活性汚泥法、オキシデーションディッチ法、膜分離活性汚泥法、生物ろ過法、生物活性炭、固定化担体、グラニュール法、UASB法、メタン発酵、嫌気性消化、凝集沈殿、ろ過、吸着、浮上分離、膜、オゾン、塩素、紫外線、電解処理、促進酸化処理、消毒副生成物、健康関連微生物、	conventional activated sludge process, oxidation ditch process, membrane bio-reactor (MBR), biofiltration process, biological activated carbon, immobilized carrier, granular sludge, UASB, methane fermentation, anaerobic digestion, coagulation sedimentation, filtration, adsorption, air flotation, membrane separation, ozone, chlorine, UV, electrolytic treatment, advanced oxidation processes,
		2 生物膜法等 biofilm process		
		3 嫌気性処理 anaerobic treatment		

D	排水処理 処理方式 Wastewater treatment - treatment process	4	物理処理 physical treatment	生物学的窒素処理（硝化、脱窒、ア ナモックス等）、直接浄化、人工湿地 など	disinfection byproduct, health-related microorganisms, biological nitrogen removal (nitrification, denitrification, ANAMMOX, etc), direct purification, constructed wetland, etc.
		5	化学処理 chemical treatment		
		6	消毒 disinfection		
		7	生物学的窒素処理 biological nitrogen removal		
		8	人工湿地 constructed wetland		
		9	その他 others		
E	排水処理 除去・回収対象物質 Wastewater treatment - materials for removal/recovery	1	微量化学物質／難分解性有機物 trace chemicals/persistent organic compound	内分泌攪乱物質、医薬品、難分解性 有機物、その他微量化学物質、生物 学的窒素除去、生物学的リン除去、 晶析法、ストリップング法、重金属、 希少金属など	endocrine disruptor, pharmaceutical and personal care products (PCPs), trace chemicals, biological nitrogen removal, biological phosphorus removal, crystallization method, stripping, heavy metal, rare metal, etc.
		2	窒素・リン nitrogen/phosphorus		
		3	金属類 metals		
		4	塩分除去 desalting		
		5	高濃度有機物 highly-concentrated organics		
		6	その他 others		
F	排水処理 排水の種類 Wastewater treatment - wastewater type	1	下水／生活雑排水／し尿 sewage/domestic wastewater/ night soil	下水道、浄化槽、農集排、コミュニ ティプラント、コンポストトイレ、 鉄鋼業、電子産業、食品産業、醸造 業、畜産業など	sewage, Johkasou, rural community sewerage, community wastewater treatment plant, composting toilet, steel industry wastewater, electronic industry wastewater, food industrial wastewater, brewing industry wastewater, agricultural wastewater, etc.
		2	工場排水 industrial wastewater		
		3	食品産業排水 food industrial wastewater/ agricultural wastewater		
		4	その他 others		
G	排水処理 除去機構解析 Wastewater treatment - analysis of treatment mechanism	1	生物処理モデル biological treatment model	活性汚泥モデル、嫌気性モデル、ろ 過モデル、堆積モデル、ポピュレー ションダイナミクス、PCR法、FISH 法など	activated sludge model, anaerobic reaction model, filtration model, sedimentation model, population dynamics, polymerase chain reaction (PCR), fluorescence in situ hybridization (FISH), etc.
		2	物理化学的処理モデル physical-chemical treatment model		
		3	遺伝子解析 genetic analysis		
		4	その他 others		
H	排水処理 排水回収 低炭素対応 その他 Wastewater treatment -wastewater recovery, Low carbon, other	1	排水回収 wastewater recovery,	排水回収、再生利用、造水処理など	wastewater recovery, water reclamation, zero liquid discharge, etc.
		2	省エネ・創エネ energy conservation/energy production	省エネ・創エネ、温暖化防止、メタ ン発酵、水素発酵、熱回収、微生物 燃料電池など	energy conservation, energy production, prevention of global warming, methane fermentation, hydrogen fermentation, thermal recycle, microbial fuel cell, etc.
		3	地球温暖化 global warming		
		4	微細藻類 microalgae		
		5	その他 others		
I	汚泥・廃棄物処理、 バイオマス Sludge/Waste treatment	1	汚泥処理 sludge treatment	嫌気性消化、メタン発酵、下水汚泥、 資源化処理、減容化処理、コンポ スト、浸出水、畜産廃棄物、評価指標、 バイオマスエネルギーなど	anaerobic digestion, methane fermentation, sewage sludge, recycling, volume reduction, composting, leachate, livestock waste, evaluation index, biomass energy, etc.
		2	廃棄物処理 waste treatment		
		3	バイオマスエネルギー変換、バ イオマス資源化 biomass energy conversion, biomass resource recovery		

		4 その他 others		
J	毒性・健康影響 Toxicity/Health effects	1 毒性評価 toxicity assessment 2 生物影響 biological effects 3 健康関連微生物 health-related microorganisms 4 その他 others	下水, 河川, 地下水, 湖沼, 海域, 浸出水, 健康関連微生物, 細胞毒性, 変異原性, 水生生物, 生物濃縮, 生態系影響, リスク評価, 指標生物, DNA マイクロアレイ, 内分泌攪乱作用など	sewage, river, groundwater, lake, sea, leachate, health-related microorganisms, cytotoxicity, mutagenicity, aquatic organism, bioaccumulation, ecosystem impact, risk assessment, index organism, DNA microarray, endocrine-disrupting effect, etc.
K	試験・分析法 Test/Analysis	1 化学分析 chemical analysis 2 生物学的分析 biological analysis 3 バイオアッセイ bioassay 4 その他 others	機器分析, GC/MS 法, LC/MS 法, 簡易分析, センサー, 内分泌攪乱物質, 金属元素, 微量有機化学物質, 健康関連微生物, PCR 法, ハイブリダイゼーション法, バイオセンサー, 培養細胞, 水生生物など	instrumental analysis, gas chromatography/mass spectroscopy analysis, liquid chromatography/mass spectroscopy analysis, simple analysis method, sensor, endocrine disrupting chemicals, nonmetal element, organic micropollutant, health-related microorganisms, polymerase chain reaction, hybridization, biosensor, cultured cell, aquatic organism, etc.
L	総合評価・管理 Comprehensive evaluation/Management	1 技術/システム評価 technology/system evaluation 2 生態リスク評価/管理 ecological risk assessment/management 3 環境動態 environmental fate 4 維持管理 maintenance 5 財政評価 monetary evaluation 6 その他 others	省資源・省エネルギー, コスト, LCA, 二酸化炭素発生対策, 気候変動, 温暖化防止, リスク管理, アセットマネジメントなど	natural resources saving, energy conservation, cost evaluation, LCA, CO ₂ emission countermeasure, climate change, prevention of global warming, risk management, asset management, etc.
M	環境教育・国際協力 Environmental education/International cooperation	1 環境教育 environmental education 2 国際協力・海外調査 international cooperation/overseas research 3 その他 others	環境保全活動, 環境学習, 地域参加, 環境計画, 地球環境, 文化交流, 技術普及など	environment conservation activity, environmental learning, community involvement, environment plan, global environment, cultural exchange, technology propagation, etc.
N	水環境文化 Water environment culture	1 景観, 都市設計 landscape/urban planning 2 地域, 暮らし, 歴史, 伝統 region/life/history/tradition 3 その他 others	景観, 都市設計, デザイン, 暮らしと水, 親水, 行政, ホタル, 文化交流など	landscape, urban planning, design, life and water, water park, government administration, firefly, cultural exchange, etc.
O	震災・復興 Impact of Earthquake or Tsunami/Restoration	1 放射性物質 radioactive substance 2 震災 impact of earthquake 3 その他 others	放射性物質, 挙動, 除去, 分析など 被害, 復旧, 自然再生など	radioactive substance, behavior, removal, analysis, etc damage, restoration, regeneration of nature, etc
P	特別企画 Special Project	1 開催支部企画 project by the host branch 2 その他 others		
Q	A ~ P 以外 Others	1 その他 others		

注：2017 年度に中分類の変更があります。選択時にはご注意ください。
複数の希望セッションに希望順位をつけて選択してください。

結果通知および表彰等

- 1) 1次審査結果は発表申し込み時に登録した E-mail アドレス宛に E-mail により応募者全員に通知します。
- 2) 受賞者には、表彰状のほか副賞を授与します。

スケジュール概要（締切以降は受け付けません）

- 1) 2020年11月19日 応募締め切り
- 2) 2021年1月18日 講演要旨原稿提出締め切り
- 3) 2021年2月上旬 1次審査結果の通知
- 4) 年会 2日目 2次審査
- 5) 2021年3月中旬 学会ホームページと E-mail で通知

付記 年会優秀発表賞（クリタ賞）受賞の博士前期課程（修士課程）修了者は、国際会議発表助成（クリタ賞国際会議発表助成、例年5月に募集予定）の助成候補対象（40歳未満で応募年度の個人正会員又は学生会員に限る）となります。

問い合わせ先

（公社）日本水環境学会
 年会優秀発表賞（クリタ賞）係
 Tel：03-3632-5351 E-mail：nenkai@jswe.or.jp

「年会学生ポスター発表賞（ライオン賞）」 候補者の募集

第55回日本水環境学会年会において、**学部生、高等専門学校生（高専生）、短大生**を対象とした年会学生ポスター発表賞の受賞候補者を募集します。多数の方々の応募を歓迎します。

表彰の趣旨 研究意欲の啓発を目指し、**学部生、高専生、短大生**を対象として優秀なポスター発表を表彰します。

表彰対象者 年会においてポスター発表を行う**大学学部、高等専門学校、短期大学**在学の学生会員に限ります。対象者以外の申し込みは発表自体をお断りすることがありますのでご注意ください。

応募方法 学会ホームページから年会研究発表を申し込む時に年会学生ポスター発表賞（ライオン賞）への応募を選択し、所定の事項を記入の上、送信してください。

審査方法 年会初日に発表審査を行い、投票に基づいて受賞者を決定します。

結果通知および表彰等

- 1) 受賞者には、表彰状のほか副賞を授与します。

スケジュール概要（締切以降は受け付けません）

- 1) 2020年11月19日 応募締め切り
- 2) 2021年1月18日 講演要旨原稿提出締め切り
- 3) 年会 初日 発表審査
- 4) 2021年3月中旬 学会ホームページと E-mail で通知

問い合わせ先

（公社）日本水環境学会
 年会学生ポスター発表賞（ライオン賞）係
 Tel：03-3632-5351 E-mail：nenkai@jswe.or.jp

海外在住外国人会員の年会発表に対する 費用助成制度「国際招聘賞」 JSWE-IDEA Water Environment International Exchange Award 第55回日本水環境学会年会の助成対象者の募集

本会では、水環境分野の国際交流・国際協力の促進を目的として、本会年会で研究発表を行う海外に在住する外国籍の個人会員・国際連携会員に対して、来日費用等の助成を行っています。

2021年3月の第55回年会はオンラインでの開催となることから、国際招聘賞として助成の対象者を下記のとおり募集します。奮ってご応募ください。

この助成制度は「いであ株式会社」殿のご出捐（ご寄付）により実施するものです。

〈募集の手引き〉

応募資格 海外に在住する外国籍の個人会員および国際連携会員（<http://www.jswe.or.jp/joining/index.html> 参照）で、第55回日本水環境学会年会において研究発表を予定する者

助成内容 年会（オンライン開催）への招待

助成対象 若干名

応募方法 年会の研究発表申し込み手続（2020年11月19日（木）締切）を行った後に、下記の提出書類を学会事務局まで提出すること

提出書類

1. 応募者の略歴、発表題目、受付番号、要旨（所定書式あり、下記 URL 参照）
2. 主な発表論文の別刷り3編（PDF可）

所定書式 下記のいずれかからダウンロード

<http://www.jswe.or.jp/awards/idea/index.html>
<http://www.jswe.or.jp/eng/awards/idea/index.html>

提出期限 2020年11月20日（金）必着

提出先 （公社）日本水環境学会 水環境国際招聘賞選考委員会

郵送の場合：〒135-0006 東京都江東区常盤2-9-7
 グリーンプラザ深川常盤201号
 E-mail の場合：kokusai@jswe.or.jp（@は半角）

合否通知 選考結果については、2020年12月末日までに応募者に通知する。

第55回日本水環境学会年会併設 全国環境研協議会研究集会

第55回日本水環境学会年会において、水環境分野の行政施策や調査研究の一層の充実を図るため研究集会を開

催します。皆様の多数のご参加をお待ちしております。

主催 全国環境研協議会

日時 2021年3月12日(金)(予定)

場所 オンライン開催(京都大学)

参加費 無料(事前申し込み必要,日本水環境学会年会の参加登録がない場合でも参加可能)

問い合わせ先

全国環境研協議会企画部会事務局

香川県環境保健研究センター(担当:安藤真由美)

Tel:087-825-0401 Fax:087-825-0408

E-mail:kanpoken@pref.kagawa.lg.jp

IWA 関連行事

World Water Congress & Exhibition 2020 Copenhagen

期日(延期) 2021年5月9日(日)~14日(金)

場所 デンマーク,コペンハーゲン

詳細 URL <https://www.worldwatercongress.org>

他学会関連行事

第26回膜分離技術セミナー

主催 膜分離技術振興協会

期日 2020年11月26日(木)10:00~16:30

場所 web開催(Zoom使用)

プログラム これから膜分離技術に携わる方々や現在、膜分離技術に携わっている現場技術者の方々を対象に、膜および膜分離技術の基礎と応用を解りやすく解説するセミナーです。

申し込み方法 下記アドレスへE-mailにてお申込みください。確認後、パスワードなどをご連絡します。

参加申込締切 web開催の為開催日前日まで受付

参加費

膜分離技術振興協会会員企業8,000円,非会員企業10,000円,地方自治体および学生4,000円

申込書等詳細 URL <http://www.amst.gr.jp/>

問い合わせ先

一般社団法人膜分離技術振興協会

〒103-0004 東京都中央区東日本橋3-12-11

東日本橋TSビル

Fax:03-6712-0192 E-mail:info@amst.gr.jp

お知らせ

2020年度「名誉会員」の推薦について

名誉会員は、水環境関連分野の学術の発展に功績があった、あるいは本会に対し特に功労があった満70歳以上の会員を、総会の承認を得て推戴します。本会名誉会員

推薦内規により、会員は名誉会員候補者を推薦できるようになっております。

なお、海外在住の外国人会員も名誉会員の対象となっております。詳細につきましては、学会事務局にお問い合わせください。

2020年度「学会賞」、「学術賞」 の受賞候補者の推薦について(募集)

これらの賞の選考については、それぞれの選考委員会に対し、会員による推薦制度を設けております。下記のとおり会員各位からのご推薦を期待しています。なお、学術賞に関しては、年齢制限はありません。詳細につきましては、学会事務局までお問い合わせください。

〈学会賞〉

本会の発展に貢献あるいは水環境に関わる分野において、とくに優れた功績を認められた会員に贈られます。

1. 被推薦資格:本会の会員にして、受賞年度(2020年度)において満60歳をこえる者

2. 提出書類:①被推薦者の氏名、住所、所属、略歴等、②推薦理由書(2,000字以内)、③参考資料等、④推薦者の氏名、住所、所属

〈学術賞〉

水環境に関わる一連の論文、著作、学術的研究成果がとくに優れた会員に贈られます。

1. 被推薦資格:本会の会員であること。年齢制限はありません。

2. 提出書類:①被推薦者の氏名、住所、所属、略歴等、②対象とする研究成果、③推薦理由書(2,000字以内)、④参考資料等(論文、著作の一覧等)、⑤推薦者の氏名、住所、所属

※それぞれの賞についての提出書類の書式は自由です。

なお、参考資料の論文、著作の一覧は査読つき論文、学会プロシーディングス、解説、著作などを明確に整理し、推薦理由書等の資料は電子媒体での提出をお願いします。

提出期限 2020年11月30日(月)

提出先 〒135-0006 東京都江東区常盤2-9-7

グリーンプラザ深川常盤201号

(公社)日本水環境学会「学会賞」、「学術賞」係

E-mail:info@jsws.or.jp

2020年度「技術賞」および 「技術奨励賞」候補者の推薦について(募集)

本会では、以下に示したような技術賞および技術奨励賞を設け、対象となる個人または団体を毎年表彰しております。受賞者(または団体)は、本学会誌に受賞者(または団体)名とその技術の受賞理由等についての記事が

掲載され広く会員に周知されます。

つきましては、下記の要領にて、会員からの技術賞もしくは技術奨励賞候補者の推薦をお願い申し上げます。「推薦」は自薦他薦を問いません。選考委員会にて、推薦内容を十分審議の上、技術賞、技術奨励賞いずれかの相応性も含めて選考させていただきます。なお、参考までに過去5年間の技術賞および技術奨励賞受賞テーマ一覧を掲載いたします。

●技術賞

水環境に関する調査研究または水環境技術に関して顕著な功績をなした個人または団体に授与されます。選考にあたっては、技術（調査内容、方法）の新規性や実績（たとえば処理技術の場合には実機実績等）等を加味して総合的に判断されます。

●技術奨励賞

水環境に関する調査研究または水環境技術が独創的であり将来を期待される個人または団体に授与されます。選考にあたっては、技術や調査研究の新規性のほか、学会発表や論文等で発表した成果や調査事例、パイロット試験結果等を加味して総合的に判断されます。

被推薦者の資格

本会正会員または団体正会員およびこれに所属する個人提出書類

「技術賞・技術奨励賞提出書類様式」を学会HPよりダウンロードしてお使いください。また、各書類はpdfファイル形式で提出先メールアドレスへお送りください。

- (1) 被推薦者の氏名、住所、所属（団体の場合は名称および代表者名）、電話番号、略歴等（連名の場合、被推薦者の役割分担を明記）
- (2) 対象とする技術または調査研究名（40字以内）
- (3) 推薦理由（①技術内容（調査内容）、②開発背景、③従来技術および優位性、④技術賞は実績を記載し、技術奨励賞では実用化への取組み、または調査研究に関しては期待される社会貢献について記載：2,000字以内）
- (4) 推薦者（氏名、住所、所属等）
- (5) 参考資料等（文献、特許、新聞記事等）

提出期間 2020年9月24日（木）～11月20日（金）

提出先（公社）日本水環境学会「技術賞および技術奨励賞」係

E-mail：info@jswe.or.jp

[参考] 過去5年間の技術賞受賞テーマ

2019年：該当なし

2018年：該当なし

平成29年：該当なし

平成28年：浮上り材を用いた合流改善高速ろ過技術

平成27年：グラニュールを利用した高速窒素排水処理システム

オキシデーションディッチ法における二点DO制御システム

過去5年間の技術奨励賞受賞テーマ

2019年：水中3Dスキャナーを活用した水中可視化技術
水中の有機化学物質の迅速・簡易な分析前処理技術

2018年：地域ネットワークを活用した化学物質の網羅モニタリングと統合的評価・管理手法に関する調査研究

平成29年：湖沼・河川および発生源における難分解性有機物の標準的分析手法の確立
高効率1,4-ジオキサン分解菌N23株を用いた連続回分処理技術

平成28年：下水処理施設由来の多面的環境負荷の統合評価手法
洗剤工場における製造工程排水リサイクルシステムの開発

平成27年：鉄バクテリア法を用いた地下水中の鉄・砒酸・亜砒酸の同時除去技術
水質モニタリングデータの活用による流域全体の変遷を捉えた水環境を見える化する手法

技術賞および技術奨励賞の歴代受賞者

<https://www.jswe.or.jp/awards/gijutsu/prizewinner.html>

年会優秀発表賞受賞者国際会議発表助成 （クリタ賞国際会議発表助成） 2020年度候補者の募集、募集期間、 対象期間の変更

過去の年会優秀発表賞（クリタ賞）受賞者が研究者・技術者として一層の飛躍をするために、本会またはInternational Water Associationが主催または共催する国際会議（日本国内での開催会議も含む）への参加・発表を助成します。

COVID-19の影響により開催が中止または延期になった国際会議が多く、渡航制限も続いていることから、助成対象となる国際会議の期間および応募締め切りを変更します。

なお、対象となる国際会議が延期になった場合は、対象期間後の開催になっても助成資格が維持されます。

応募資格

本会個人正会員または学生会員（2020年度）で以下の条件を満たす者

- 1) 大学院修士課程または博士前期課程を修了した過去のクリタ賞受賞者
- 2) 年齢が40歳未満（2020年4月1日時点）
- 3) 大学院、教育研究機関、公的機関で実施した研究成果を研究実施機関の在籍者の立場で論文発表を行うこと

助成内容

会議での参加・発表にともなう費用の一部の支援

対象となる国際会議の期間

2021年1月1日から2022年3月31日

応募方法

助成を希望する本人が、次項の書類を提出すること

提出書類（書式は自由）

- 応募者の氏名、所属、住所、Tel、Fax、E-mail
- 大学卒業後の研究・業務略歴
- 国際会議論文募集の内容が判る資料
- 国際会議発表の申込書（申し込み時点の口頭、ポスターなど発表形式が記されていること、（案）でも可）
- 発表予定の研究内容を記した書類（日本語でも可、発表申込時に提出する Extended abstract など）
- 発表採択通知（任意）
- クリタ賞受賞の研究発表との関連、参加を希望する国際会議における抱負、会議参加の必要性、会議参加で得られる情報や経験を今後の業務にどのように活用する計画であるのかを説明する文章（400字、A4一枚程度）
- 過去3年の研究等の業績（下記項目に分類して）
 - ① IWA 関連雑誌論文
 - ② JSWE 雑誌論文
 - ③ それ以外の雑誌論文
 - ④ IWA の関連国際会議論文
 - ⑤ それ以外の国際会議論文
 - ⑥ 水環年会と水環シンポジウム発表
 - ⑦ それ以外の発表

応募期日 2020年11月30日（月）

結果通知等

E-mailにより12月下旬までに通知予定です。授与式などはありません。

ただし、助成が認められても、当該発表が採択されなかった場合には、その助成の資格を失います。（次年度以降に別の発表について応募することは可能です。）

問い合わせ・書類提出先

（公社）日本水環境学会 クリタ賞国際会議発表助成 係
Tel：03-3632-5351 E-mail：kubota@jswe.or.jp

「水環境国際活動賞（いであ活動賞）」の募集

本会では、水環境分野での国際交流・国際協力の促進を目的として、本会の活動趣旨に沿っており、かつ優れた国際的な活動として選定されたものを「水環境国際活動賞（いであ活動賞）」として顕彰し、その費用の一部または全額を助成致します。助成の対象者を下記のとおり募集致します。奮ってご応募願います。

なお、この助成制度は「いであ株式会社」殿のご出捐（ご寄付）により実施するものです。

〈募集の手引き〉

応募資格 本会の個人正会員

助成内容 本会の活動趣旨に沿った優秀な国際的な活動に対して助成を行う。活動例としては、1) 海外での調査・研究活動、2) 海外または国内での、海外の話題を対象としたシンポジウムや

出版等の研究情報の普及・交流活動、3) 海外または国内での、国際的なシンポジウム等の研究集会の開催等。

助成金額 30万円（上限）

助成期間 2021年4月1日～2022年3月31日
（活動期間が2022年度にわたっても可）

助成対象件数 1件

応募方法 助成を希望する本人が、以下の提出書類を作成し、期限までに郵送（簡易書留）又はE-mail（kubota@jswe.or.jp）で提出してください。応募受付の連絡が3日以内でない場合は学会事務局にご連絡願います。

提出書類（書式は自由）

- 応募者の氏名、会員番号、連絡先住所、Tel、Fax、E-mail、所属、略歴、研究業績（主な発表論文リストや国際的な活動実績）（A4、1ページ程度）
- 活動の内容を示す計画書（目的、計画、期待される成果を含めA4、2ページ程度）
- 必要経費の概算書（活動全体にかかる経費（自己資金を含む）と本会からの助成希望金額を明記してください）

提出期限 2021年1月15日（金）必着

提出先 〒135-0006 東京都江東区常盤2-9-7

グリーンプラザ深川常盤201号
（公社）日本水環境学会 水環境国際賞選考委員会（簡易書留で封筒表に「水環境国際活動賞」と朱書きしてください）

E-mail（kubota@jswe.or.jp）での提出も可（件名に「水環境国際活動賞」と記載してください）

合否通知 選考結果については、2021年2月までに応募者に通知致します。

その他 受賞者には活動に関する報告書を作成し、学会へ提出していただきます。

2020年2月号特集「地環研の躍動」 別刷配布のお知らせ

この度、50周年記念事業の一環として、2020年2月号の特集企画編「地環研の躍動－公害国会から50年の節目に地環研が迎える転換期－」の別刷を作成しました。本企画の趣旨を踏まえて、さらに広くご活用いただくために、希望する会員へ別刷を無償配布いたします。別刷をご希望の方は①会員番号 ②所属 ③氏名 ④送付先住所 ⑤使用目的（具体的に） ⑥希望部数を明記のうえ、日本水環境学会事務局まで電子メール（kikaku@jswe.or.jp）にてお申込みください。先着順に受け付けます。なお、特集企画編「水環境分野で働く若手たち」（2018年3月号特集）、「水環境分野で働く女性たち」（2013年10月号特集）にも残部（若干数）がありますので、ご希望があればご連絡ください。

北海道大学大学院工学研究院環境工学部門、 助教の公募

募集人員 助教, 1名
所 属 北海道大学大学院工学研究院 環境工学部門
 水環境保全工学研究室
専門分野 分析化学, 特に水中の有機物質の非破壊分析,
 光学的分析による水環境汚染物質の動態解析, 水中で生
 ずる化学反応の速度論に係わる研究分野を対象とする。
応募資格 (1) 着任時に博士の学位または Ph.D. を有す
 る方。(2) 上記の専門分野に関して, 顕著な研究業績を
 有し, 十分な研究指導能力があり, 教育に熱意のある方。
 (3) 研究, 教育, および大学の運営に必要な日本語と英
 語の能力を有する方。
採用予定日 2021年4月1日以降のできるだけ早い時期
応募方法 以下詳細 URL をご参照ください。
応募期限 2020年11月27日(金) 必着
詳細 URL [http://www.eng.hokudai.ac.jp/graduate/
 research/recruit/](http://www.eng.hokudai.ac.jp/graduate/research/recruit/)
問い合わせ先
 北海道大学大学院工学研究院環境工学部門 木村克輝
 〒060-8628 札幌市北区北13条西8丁目
 Tel & Fax : 011-706-6271
 E-mail : kkatsu@eng.hokudai.ac.jp

東北大学大学院工学研究科土木工学専攻 「教授の公募」

募集人員 教授, 1名
所 属 土木工学専攻水環境学講座
専門分野 環境水質工学分野
応募資格 (1) 博士の学位を有すること, (2) 専門分野に
 おいて優れた研究業績を有すること, (3) 専
 門分野の教育・研究に強い意欲を有すること
採用予定日 2021年4月1日以降のできるだけ早い時期
応募方法 封筒に「環境水質工学教員応募書類在中」と
 朱書きの上, 簡易書留で送付してください。
応募期限 2020年11月27日(金) 17:00(必着)
詳細 URL [https://www.civil.tohoku.ac.jp/recruit/
 recruit_civil2020-2.pdf](https://www.civil.tohoku.ac.jp/recruit/recruit_civil2020-2.pdf)
問い合わせ先 東北大学大学院工学研究科土木工学専攻
 教授 西村 修
 〒980-8579 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-06
 Tel : 022-795-7470
 E-mail : osamu.nishimura.d2@tohoku.ac.jp

水生生物調査法に関する冊子等のご案内

本会では、環境省水・大気環境局と国土交通省水管理・国土保全局編の水生生物による水質判定に関する冊子と下敷きを販売しております。これらは、小・中学生をはじめ、一般の方々にも身近な自然に接しながら、水辺の環境を理解していただくために大いに役立っております。水生生物調査法にご関心のある方に、広くご利用いただくようお願いいたします。購入ご希望の方は、下記「購入申込書」にご記入のうえ、E-mailまたはFaxにてお申し込みください。学会ホームページからも「購入申込書」をダウンロードできますのでご利用ください。

(<https://www.jswe.or.jp/community/booklet/index.html>)

記

定価表 (円)

品 名	本 体 価 格
1. 川の生きものを調べよう (冊子)	158 円
2. 川の生きものを調べよう (下敷)	164 円

注 1.) 別途消費税がかかります。

注 2.) 送付先 1ヶ所あたりの購入数が合計 500 部以上の場合は、当方で送料を負担いたします。

500 部未満は実費をご負担願います。

【申込先】 公益社団法人 日本水環境学会

〒135-0006 東京都江東区常盤 2-9-7 グリーンプラザ深川常盤 201 号

Tel : 03-3632-5351 Fax : 03-3632-5352 E-mail : infobio@jswe.or.jp

購 入 申 込 書

品 名	本体価格	購入数
1. 川の生きものを調べよう (冊子)	158 円	部
2. 川の生きものを調べよう (下敷)	164 円	枚

注 1.) 別途消費税がかかります。

注 2.) 送付先 1ヶ所あたりの購入数が合計 500 部以上の場合は、当方で送料を負担いたします。

500 部未満は実費をご負担願います。

上記のとおり購入を申し込みます。

(西暦) 年 月 日

〔送り先〕

所在地 〒

名 称

担当者名 電 話 FAX

支払い方法 (いずれかに○印) (銀行振込 または 郵便振替)

*お振り込みの際の振込手数料はご負担をお願いいたします。

*請求書の様式、宛先、納入日、その他ご指定がございましたらご記入ください。